

令和 04 年度 自己評価・学校関係者評価書(結果公表シート)

令和5年3月30日  
富士宮北幼稚園

1 幼稚園の教育目標

- ・子どもらしい明るい元気な子ども
- ・思いやりのある豊かな感性のある子ども
- ・意志の強い決断力のある子ども

2 本年度の重点課題(学校評価の具体的な目標や計画)

- ・子どもの声に耳を傾ける。
- ・行事を通して園児達に達成感をあじあわせ、自信を持たせる。
- ・振興協会の研修を中心に各種研修に積極的に取り組み、これを保育に生かす。

3 評価項目の達成及び取り組み状況

	評価項目	結果	理由	学校関係者評価
1	保育の計画性	A	3年代を通し、話し合いを通して計画性の面では改善されてきている。もっと、子ども自らが係れる計画にしたほうがよいのではないか	A
2	保育のあり方 幼児への対応	A	計画的に環境構成を実施するなど、改善されている。	A
3	教師としての資質、 能力、良識、適正	A	日常の保育に流されている傾向はあるが、自己啓発の面で昨年に比べ積極的に研修等に参加していた。	A
4	保護者への対応	B	保護者に対する対応は、ほぼ満足できる内容であった。(多少、保護者との意志の行き違いがあったケースもあったが)	B
5	地域の自然や社会との かかわり	C	地域との関わりの面でほぼ満足できる内容であった	C
6	研修と研究	A	振興協会主催の研修会のほかに、自主的に他の研修会に積極的に参加した。	A

- \* 結果の表示方法
- A 十分達成されている
  - B 達成されている
  - C 取り組まれているが、成果が十分でない
  - D 取り組みが不十分である

4 本年度の重点課題の総合的な評価結果

- ・重点課題であった「子どもの声に耳を傾ける」は十分に達成したと思います。
- ・地域との関わりについては、介護施設への訪問は中止とした。(交流のあった施設が閉鎖となり、昨年度と同様に支援学校との交流が行われたが、コロナの関係で規模は縮小されたが、目的は達成された。
- ・研修や研究を通じて、職員間の話し合いを行い、保育の向上へつなげる取り組みが見られた。

### 5 今後取り組むべき課題

課 題	具体的な取り組み方法
自己啓発	幼稚園サイドは講習会等の情報を積極的に職員に知らせる。職員はこれを積極的に活用する。
地域との関わり	今まで以上に地域の行事に協力する。(幼稚園で積極的に日程調整を行う)
年代間のつながり(研修と研究)	年長、年中、年長間のつながりを大切にする。

### 6 学校関係者評価委員会からのコメント

- ・職員、園児の挨拶は元気で良い。
- ・園児が減少しているが、きた子供を大切に育ててほしい。
- ・様々な施設との交流が増えることは、幼稚園にとっても、園児にとっても良いことである。コロナ禍であるので、無理をしないようにしてほしい。
- ・新型コロナウイルスの為園の行事も大変だが、安全を優先してやってほしい。

令和 04 年度 自己評価・学校関係者評価書(結果公表シート)

令和5年3月30日  
富士宮東幼稚園

1 幼稚園の教育目標

<ul style="list-style-type: none"> <li>・子どもらしい明るい元気な子ども</li> <li>・思いやりのある豊かな感性のある子ども</li> <li>・意志の強い決断力のある子ども</li> </ul>
--

2 本年度の重点課題(学校評価の具体的な目標や計画)

<ul style="list-style-type: none"> <li>・子どもの声に耳を傾ける。</li> <li>・行事を通して園児達に達成感をあじあわせ、自信を持たせる。</li> <li>・振興協会の研修を中心に各種研修に積極的に取り組み、これを保育に生かす。</li> </ul>
--

3 評価項目の達成及び取り組み状況

評価項目	結果	理由	学校関係者評価
1 保育の計画性	A	3年代をとおしての計画性をもっと持たせる。	A
2 保育のあり方 幼児への対応	A	保育のあり方や園児への対応もよくなってきている。	A
3 教師としての資質、 能力、良識、適正	A	昨年度から会議等では積極的な意見も出てきて、 ほぼ満足できる内容であった。	A
4 保護者への対応	A	ほぼ評価できる内容であった。	A
5 地域の自然や社会との かかわり	C	当日の天候に左右されやすいが、老人施設の訪問は コロナの関係で中止とした。 (今まで交流のあった施設が閉鎖となった)	C
6 研修と研究	A	市内公開保育はコロナの関係で中止となったが、 自園独自の実技研修を実施した。	A

- \* 結果の表示方法
- A 十分達成されている
  - B 達成されている
  - C 取り組まれているが、成果が十分でない
  - D 取り組みが不十分である

4 本年度の重点課題の総合的な評価結果

<ul style="list-style-type: none"> <li>・重点課題であった「子どもの声に耳を傾ける」は十分に達成したと思います。</li> <li>・各自が研修に参加が難しい中で、園内での研修に重点を移して、園全体で保育の向上につな</li> <li>・未就園児教室の開催日の増やすことは、園庭開放で対応し、月に一回は未就園児が園に訪れられるようにした。</li> </ul>
---

5 今後取り組むべき課題

課 題	具体的な取り組み方法
自己啓発	会議等で出た積極的な意見を、自己啓発や園運営に生かす。 全員が1つ以上の研修に参加するよう努める。
地域との関わり	コロナの関係で問題も多々あるが、出来る限り地域とのかかわりを持ち続けていきたい。 交流できる施設を模索する必要がある。
年代間のつながり(研修と研究)	年少、年中、年長間のつながりを大切にするとともに、互いの問題点を共有しあうようにする。(保育の計画性も含め)

#### 6 学校関係者評価委員会からのコメント

- ・徒歩通園の為、比較的地域とのかかわりは多く持たれていると思う。(通園時の挨拶等)
- ・職員、園児の挨拶は気持ちがいい。
- ・コロナのはやっている現在、無理して未就園児の教室をもっと増やさなくても、園庭開放でもいいのではないか(園児の保育に支障の出ない範囲で)
- ・新型コロナで園行事も大変だが、安全第一で行ってほしい。